

# 低身長女子に対する染色体検査について

## 検査の必要性

女子の子宮内発育不全、低身長の原因としてターナー女性があります。

ターナー女性には出生女子 2,000 人に一人の頻度で見られ、主な症状は低身長と卵巣機能不全です。

その他に心臓や腎臓などに症状がみられることもあります。

原因は、1 対 2 本ある X 染色体のうち 1 本あるいはその一部が欠けていることによります。

症状には個人差があり、身長が低いこと以外には症状が目立たないこともあります。

もしターナー女性と診断されれば、低身長に対しては成長ホルモン補充療法、将来的に考えられる卵巣機能不全に対しては女性ホルモンの投与を行うことにより通常の子女と同様に発育、発達することが可能です。そのためには早期の診断、治療が必要になります。

診断のためには染色体検査が必要です。検査の際には個人情報保護されています。

染色体検査を行うと、ターナー女性の症状とは関連ない染色体異常が偶然発見されることがあります。その場合に、その結果を告知されることを希望されますか。

希望する

希望しない

もし検査を行わない場合

ほかのホルモンの病気の可能性について検査を行いながら経過をみていきます。

経過をみていく途中でもし検査を希望されればその時点で行います。

以上の説明を 医師 \_\_\_\_\_ より行いました。

以上の説明を受けた上で染色体検査を行います。

年 月 日

主治医署名 \_\_\_\_\_

患者氏名 \_\_\_\_\_

保護者署名 \_\_\_\_\_

鹿児島県医師会成長曲線小委員会作成